

2025年10月20日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、JAあおばの経営理念「**組合員とともに、「食」と「農」を通じて地域の中で発展し続けるJAを目指します**」のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と顧客ニーズに応じた「ひと・いえ・くるまのバランスのとれた総合保障」の提供を基本に、安心と豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、
共同で事業運営しております。

あおば農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3および(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 貯金・ローンをはじめとする暮らしに便利な商品・サービスは、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズや特性に応じた最善な商品を選定し、提供しております。また、当該商品を組成する投資運用会社については、次のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認のうえ選定します。お客さまの最善の利益を実現するため、JAバンク全体として、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供するなど情報連携を行います。なお、当組合は、投資性金融商品の組成に携わっておりません。

<プロダクトガバナンスに関する補充原則>

- ・補充原則1 基本理念
- ・補充原則2 体制整備
- ・補充原則3 金融商品の組成時の対応
- ・補充原則4 金融商品の組成後の対応
- ・補充原則5 顧客に対する分かりやすい情報提供

※詳細は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」内の、「プロダクトガバナンスに関する補充原則」を参照ください。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

「JAバンクセレクトファンド」のラインナップは、主に「将来の備えに向けて長期投資を前提とした投資信託であること」、「手数料が良心的な水準であること」、「過去の運用実績が相対的に良好であること」、「これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を捻出する投資信託でないこと」、「運用体制について、外部機関の評価を得ていること」をもとに選定されています。

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス 【原則2本文および(注)、原則3および(注)、原則6本文および(注2、3)、補充原則1～5本文および(注)】

当組合は、組合員・利用者の皆さまが、日常生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組みとサービスを提供します。

なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済など）の提供は実施しておりません。

(取組・サービス)

- 住宅価格の高騰や、夫婦共働きの多い地域特性による連帯債務が多いため、従来の団体信用生命共済よりも手厚い保障が可能となる「連生タイプ」の商品を新たに取扱いしています。
- Webマイページをご登録いただくことで、「ご契約内容の確認」、「生命共済の入院・手術の請求手続き」、「自動車共済の継続（※一部の自動車共済契約を除く）」等、お手続きができます。
- キャッシュレスにより、スピーディーにお手続きができます。
- ペーパーレス手続きによる負担軽減を実施しています。

※一部、取組・サービス抜粋

- 総合満足度は、2024年度3月末時点で 94.6% となっております。
- なお、共済事業につきましては、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等については相互に連携しています。

I.取組状況

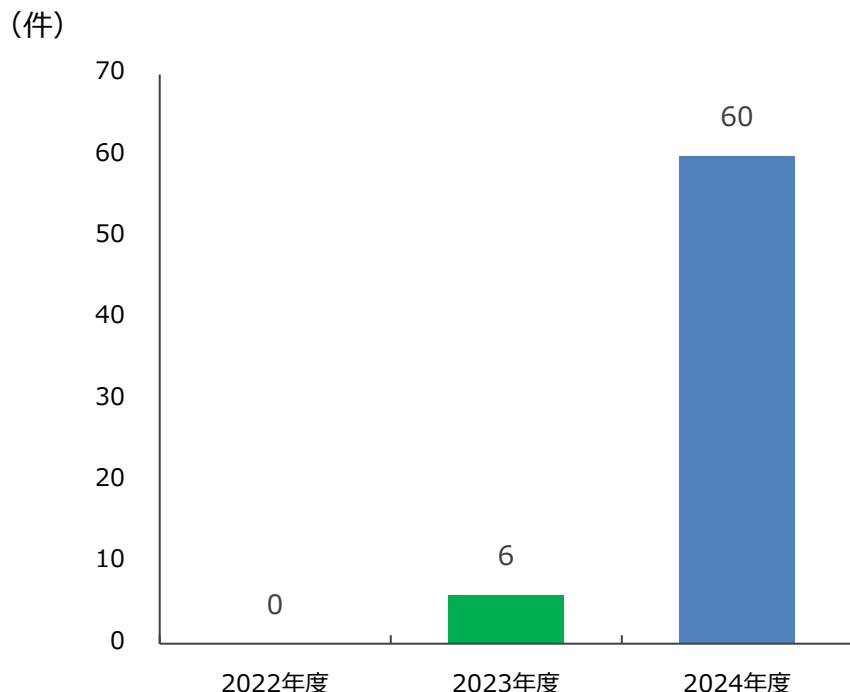
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

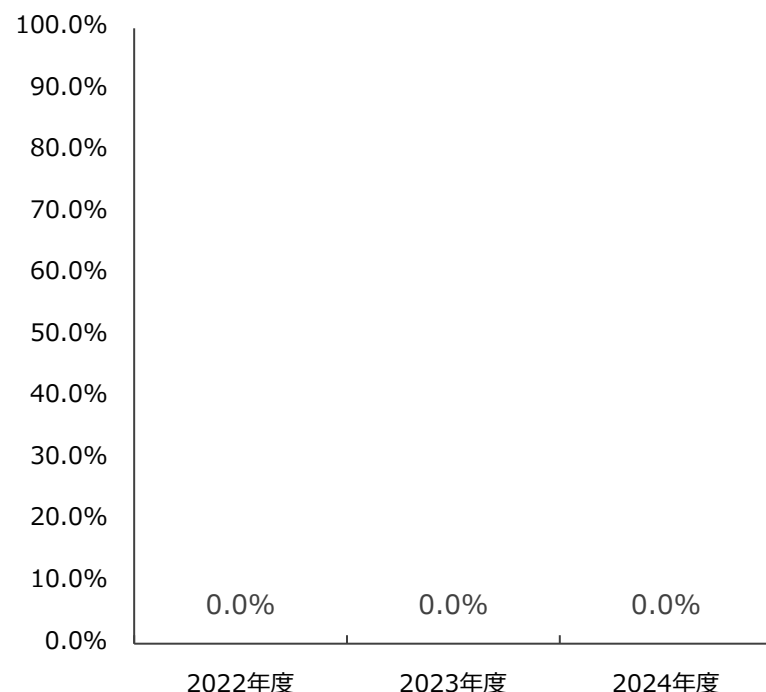
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ・ 組合員・利用者一人ひとりの金融知識・経験・財産を踏まえ、ニーズや目的に合わせて商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売いたします。特に、ご高齢の組合員・利用者さまにはより丁寧に説明し、複数名でニーズ等の確認を行い、お取引後も日々の接点を通じてより安心していただけるアフターフォローを行います。
- ・ 組合員・利用者の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について「資産運用ガイダンス」等の資料を用いて分かりやすくご説明し必要な情報を十分にご提供します。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



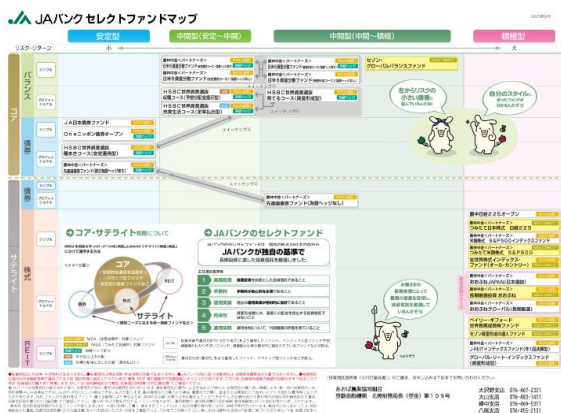
I.取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

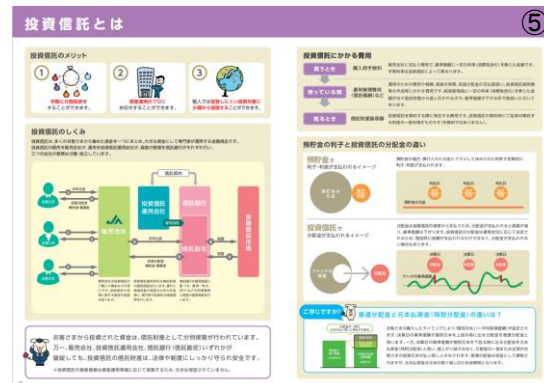
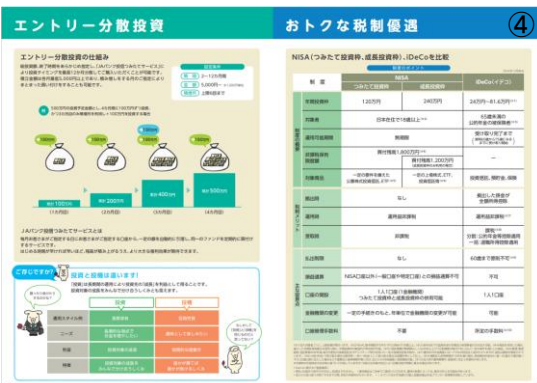
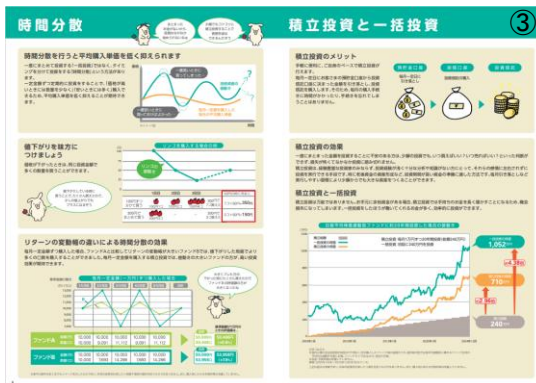
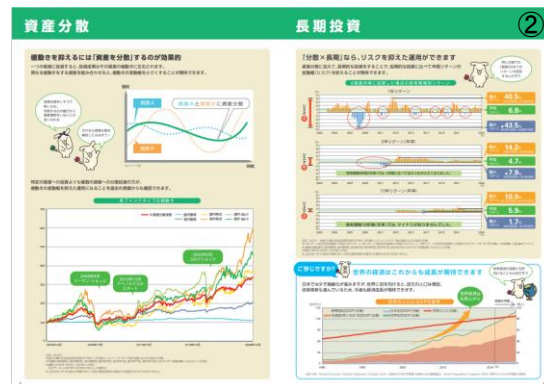
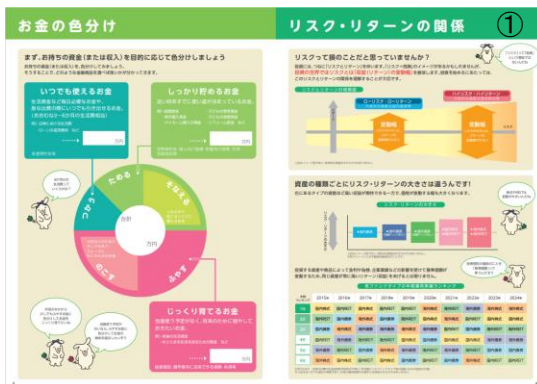
(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4本文、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ・ 組合員・利用者一人ひとりの金融知識・経験・財産を踏まえ、ニーズや目的に合わせて商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売いたします。特に、ご高齢の組合員・利用者さまにはより丁寧に説明し、複数名でニーズ等の確認を行い、お取引後も日々の接点を通じてより安心していただけるアフターフォローを行います。
- ・ 組合員・利用者の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について「資産運用ガイダンス」等の資料を用いて分かりやすくご説明し必要な情報を十分にご提供します。



資産運用ガイダンス(①～⑤)



I. 取組状況

2 組員・利用者本位の提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

①組員・利用者の皆さまに対して、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等の確認を行い、必要な人に必要な保障を提供するため、アフターフォローも含め、利用者目線でサービスを提供します。

(※図1参照)

②ご契約の際には、組員・利用者の皆さまのご意向を把握し、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、ご契約に関する重要事項説明を親切丁寧に実施します。

③ご高齢の組員・利用者の皆さまに対しては、特にご意向を十分にお聞きし、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約の際にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行います。

(※図2参照)

④組員・利用者の皆さまに対しては、Webマイページの促進、ペーパーレス手続きによる契約時における負担軽減、キャッシュレスによるスピーディーな決済で現金を用意する手間を省くなど、利便性向上による利用者満足度の向上に取組みます。

⑤保障のご加入にあたり、共済掛金の他に組員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

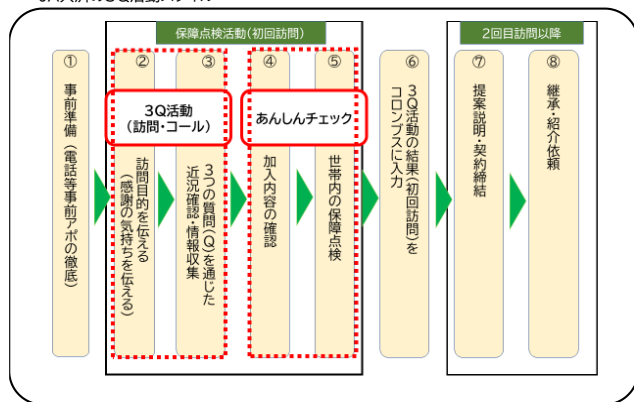
(図1)

<3Q活動とは>

3Q活動とは、「日頃の感謝」を申しあげるとともに、3つの質問 (Question) 「Q1: ご自身やご家族に病気・ケガによる入院・手術がないか?」「Q2: 建物・家財などの被害がないか?」「Q3: ご家族にお変わりはないか?」を確認し、生涯にわたり、「安心」と「満足」をお届けする。

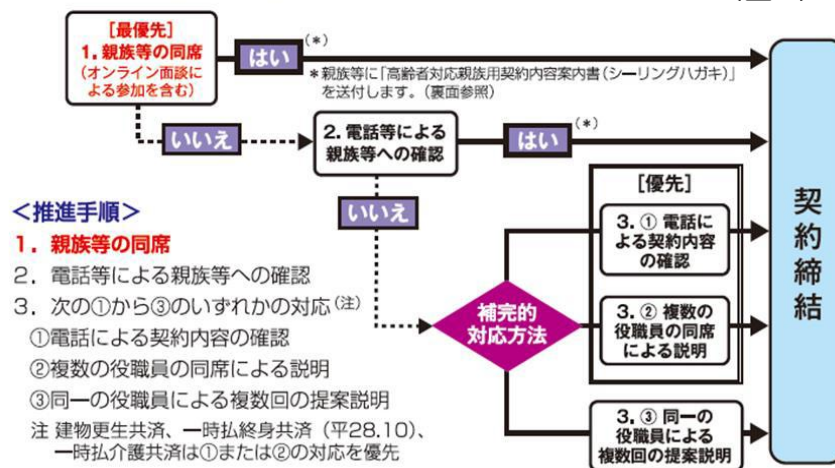
【参考】

JA共済の3Q活動スタイル



<実施フロー図 (イメージ)>

(図2)



<推進手順>

1. 親族等の同席

2. 電話等による親族等への確認

3. 次の①から③のいずれかの対応(注)

①電話による契約内容の確認

②複数の役職員の同席による説明

③同一の役職員による複数回の提案説明

注 建物更生共済、一時払終身共済（平28.10）、一時払介護共済は①または②の対応を優先

【上記<推進手順>「1. 親族等の同席」が困難なケース】

例：親族等が遠隔地に在住しているため、オンライン面談を提案したが断られた 等

【上記<推進手順>「2. 電話等による親族等への確認」が困難なケース】

例：親族等がいないまたは親族等と疎遠関係にあることで、電話等による契約内容の確認が困難 等

I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供④

(2) 共済の事業活動 【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

年度	総合満足度	高齢者意向把握選択状況 （生命総合・建物更生共済合計）			3Q活動			PL （ペーパーレス）				CL （キャッシュレス）	
	「新契約」、「3Q活動」、「自動車継続」、「生命共済利用者」、「建物共済利用者」の5プロセス合算	親族同席有 ①	電話等による 親族確認 ②	親族同席＋ 電話等による 親族確認 ①＋②	3Q活動 実施数	Webマイページ 登録者数 （累計）	JA共済アプリ 登録者数 （累計）	新契約 （長期）	新契約 （自動車）	異動 （長期）	異動 （自動車）	新契約 （長期）	新契約 （自動車）
2024	94.6%	80.2%	15.1%	95.3%	6,964人	1,685人	651人	96.8%	98.8%	78.4%	84.6%	96.3%	91.8%

・高齢者対応における親族の同席割合は、2024年度 80.2% となりました。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- （1）組合員・利用者の皆さまへの商品選定や保障提案、情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することのないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

（1）信用事業

農林中央金庫や外部講師による研修指導や資格取得の奨励を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

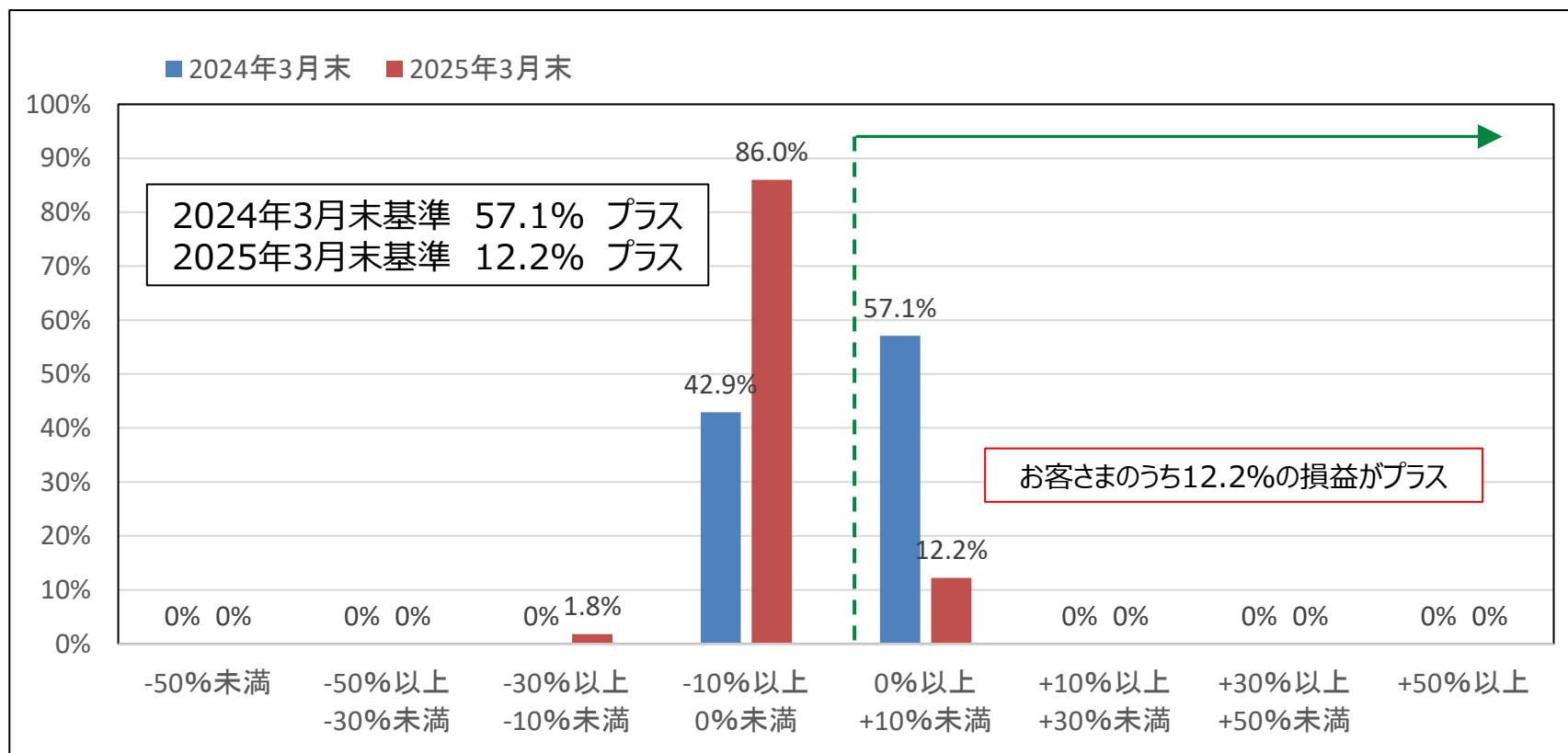
（2）共済事業

JA共済連と連携し研修を実施する事で、職員のスキルアップとL A・スマイルサポーターが組合員・利用者の皆さまに寄り添い、組合員・利用者本位の総合保障を提供するための態勢を構築します。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

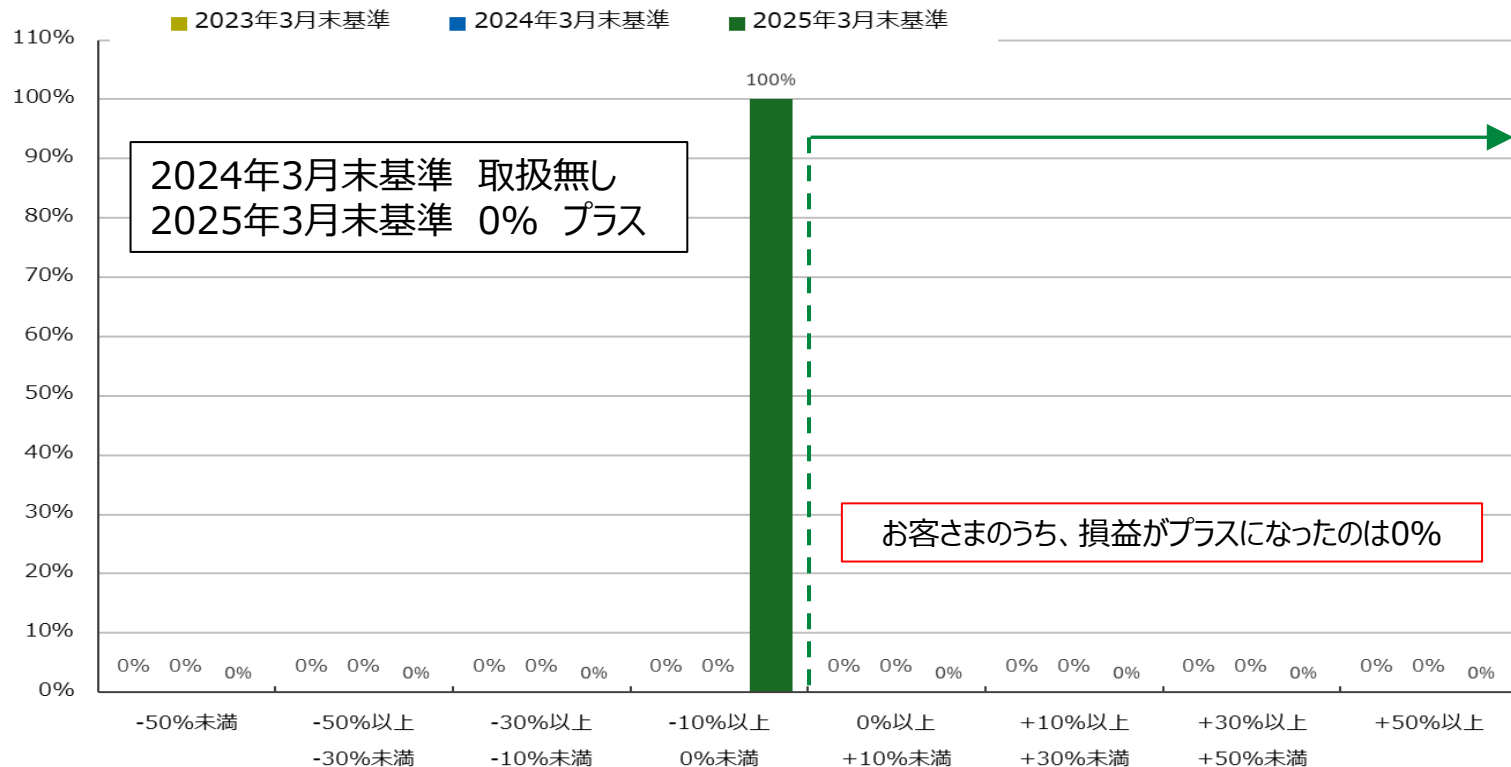
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してまいりましたが、市場の影響を強く受けたことにより2025年3月末時点では全体の12.2%のお客様の損益がプラスとなるに留まりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2024年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）につきましては、2025年3月末時点では損益がプラスとなるご契約はございませんでした。
- 継続的なアフターフォローにより、組合員・利用者の目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。

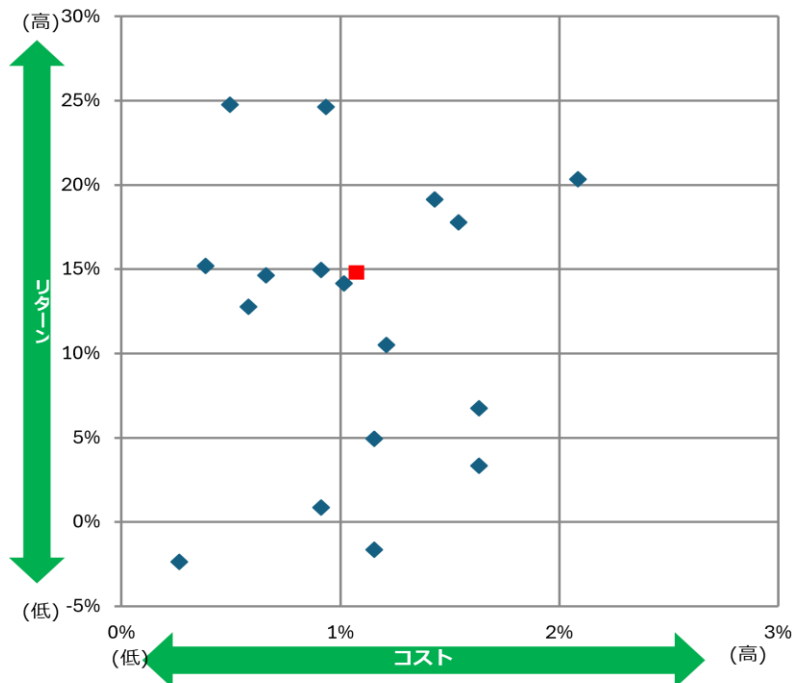


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

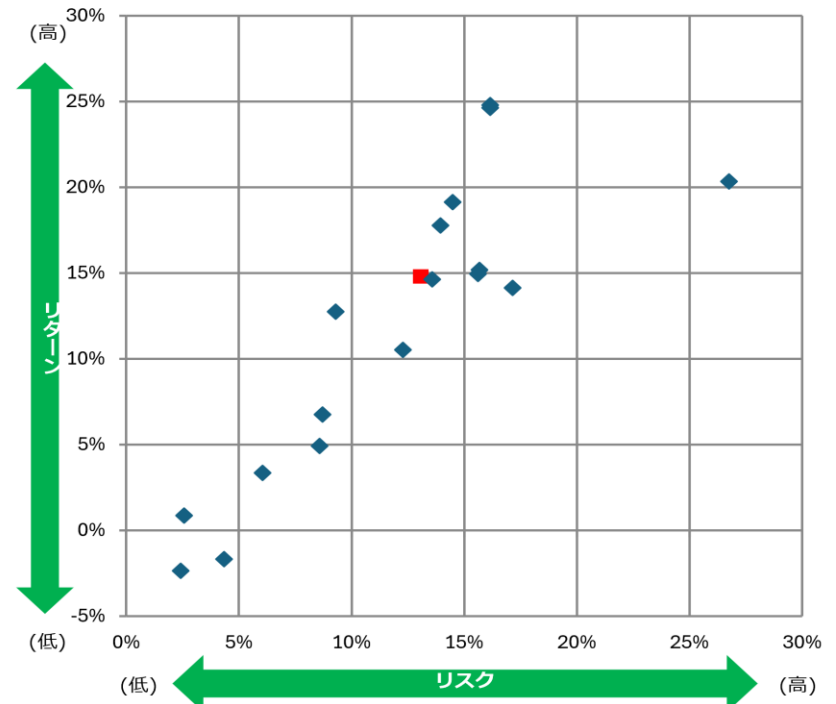
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク13.08%に対して、平均リターンは14.79%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



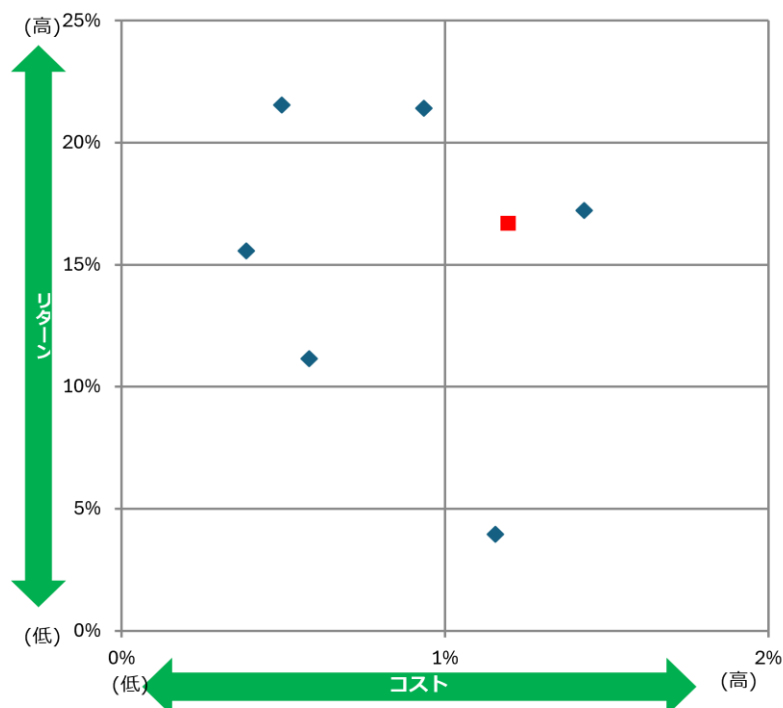
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

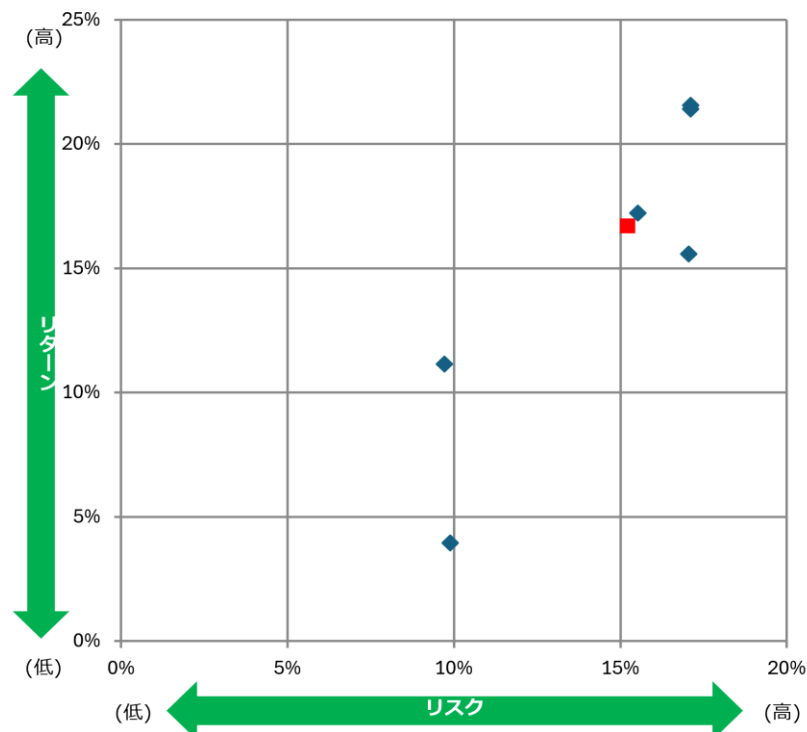
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.20%、平均リスク15.22%に対して、平均リターンは16.70%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
3	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	0.87%	2.57%	0.91%
4	おおぶねグローバル (長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	14.63%	13.58%	0.66%
5	日米6資産分散ファンド (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
6	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	20.35%	26.74%	2.08%
7	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.77%	16.16%	0.50%
8	HSBC世界資産選抜 育てるコース (資産形成型)	HSBCアセットマネジメント (株)	6.76%	8.71%	1.63%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.96%	15.62%	0.91%
10	グローバル・リート・インデックスファンド (資産形成型) 世界のやどか	大和アセットマネジメント (株)	14.15%	17.14%	1.02%
11	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	12.76%	9.29%	0.58%
12	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	10.52%	12.27%	1.21%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース (予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント (株)	3.35%	6.05%	1.63%
14	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-2.36%	2.41%	0.26%
15	日米6資産分散ファンド (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.66%	4.34%	1.16%
16	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.19%	15.67%	0.39%
17	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	17.77%	13.93%	1.54%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計 / 残高加重平均値		14.79%	13.08%	1.07%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.70%	15.22%	1.20%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。